

# 証 明 書

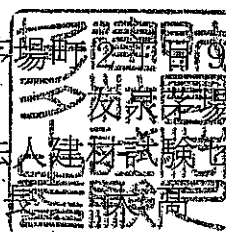
三菱電機株式会社 中津川製作所

所長 岡田 奎司 殿

東京都中央区日本橋茅場町2番8号



財団法人  
理事



平成14年 7月12日付けで申請された以下の製品は、次の告示に該当することを証明する。

平成14年 7月26日

1. 対象製品

商品名：「外壁用温度ヒューズ連動防火ダンパー」

2. 該当告示及びその内容

平成12年建設省告示第1369号第1第二号に定める防火ダンパー

3. 申請内容の説明

詳細を別添1に示す。

4. 証明の条件

本証明は、申請者の提出資料に基づいて判断したものである。提出資料の内容に含まれないものもしくは異なるものについては、証明の対象外である。

当該製品の取り付け要件、遮煙性能及びヒューズの作動要件については、証明の対象外である。

別添 1

# 申請内容

1. 商品名

「外壁用温度ヒューズ連動防火ダンパー」

2. 申請の概要 (申請者の提出資料による)

2-1. 製造者名

三菱電機株式会社 中津川製作所

2-2. 製品の形状・寸法等

製品の形状及び寸法を表1に、羽根の寸法を表2に示す。

表1 製品の形状及び寸法

単位：mm

形名	開口面積 (m <sup>2</sup> )	寸法					
		A	B	C	D	E	□F(F)
SHW-20	0.061	315	280	276	276	288.5	245
SHW-25	0.089	365	330	295	326	338.5	295
SHW-30	0.121	415	380	313	376	388.5	345

形名	寸法					
	G	H	J	K	L	M
SHW-20	180	259	251	262	250	122
SHW-25	199	309	301	312	300	172
SHW-30	218	359	351	362	350	222

表2 羽根の寸法

単位：mm

形名	羽根寸法		羽根枚数
	a	b	
SHW-20	262	250	矩形1枚
SHW-25	312	300	矩形1枚
SHW-30	362	350	矩形1枚

2-3. 製品の組成及び構成

製品の組成及び構成を表3に示す。

表3 製品の組成及び構成

単位：mm

品番	名称	組成及び構成	
01	本体ケーシング	材質：溶融亜鉛めっき鋼板 SGC (JIS G 3302) 厚さ：1.6	材質：冷間圧延ステンレス鋼板 SUS304-CP (JIS G 4305) 厚さ：1.5
02	羽根	材質：溶融亜鉛めっき鋼板 SGC (JIS G 3302) 厚さ：1.6	材質：冷間圧延ステンレス鋼板 SUS304-CP (JIS G 4305) 厚さ：1.5
03	ウェザーカバー*	材質：SGC 厚さ：0.6	材質：SUS 厚さ：0.5
04	シャッター枠*	材質：SGC 厚さ：1.6	材質：SUS 厚さ：0.5
05	固定板*	材質：SGC 厚さ：1.6	材質：SUS 厚さ：1.5
06	網*	材質：メタルラス 厚さ：0.5	
07	ヒンジ*	材質：SUS 厚さ：0.9	
08	シャッター*	材質：アルミ 厚さ：0.8	
09	羽根押工*	材質：SUS 厚さ：1.5	
10	羽根止め*	材質：SUS 厚さ：1.5	
11	ヒューズ取付フック 2*	材質：SUS 径：φ2	
12	ヒューズ*	材質：MF72A	
13	ヒューズ取付フック 1*	材質：SUS 径：φ1.6	
14	羽根押工台*	材質：SUS 厚さ：1.5	
15	止めピン*	材質：SUS 径：φ5	
16	スピードナット*	材質：鉄 径：φ1.4	
17	羽根補強材*	材質：SGC 厚さ：1.6	材質：SUS 厚さ：1.5

\*：証明対象外

2-4. 製品図

製品図を図1～図3に示す。

単位:mm

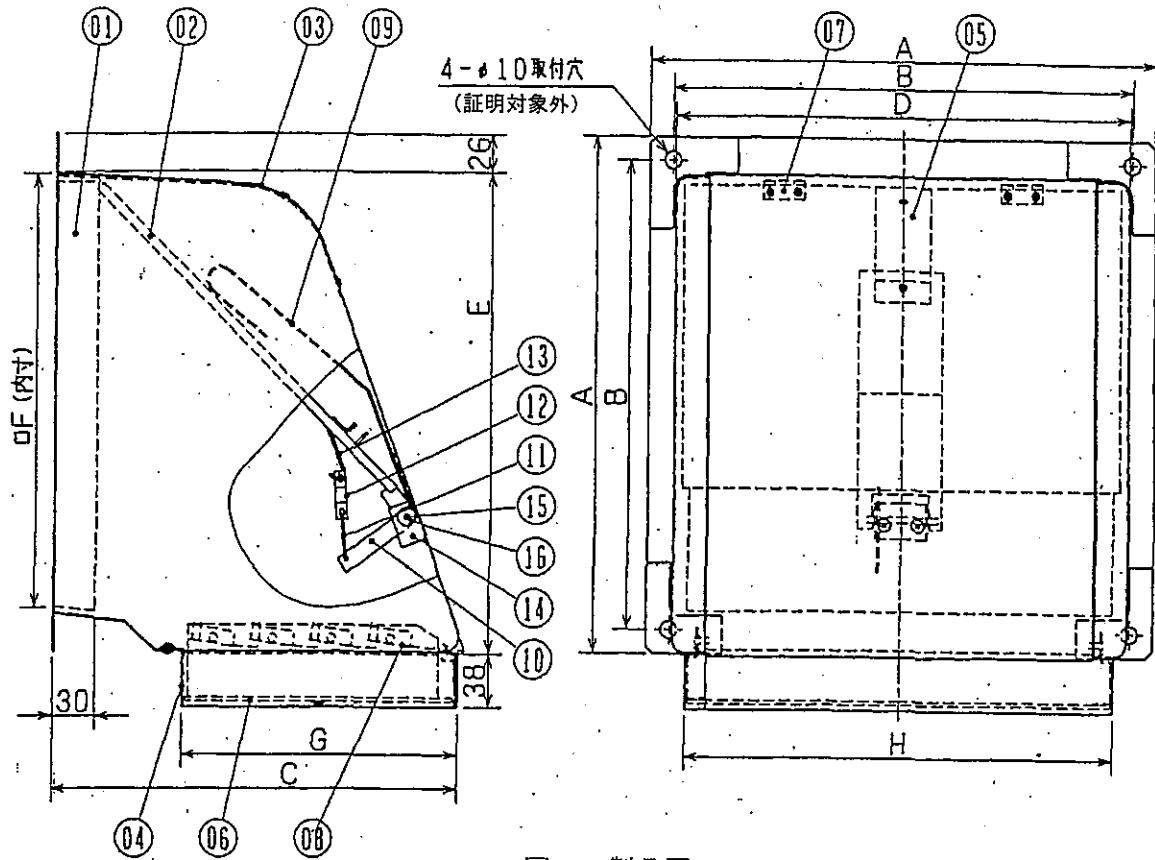


図1 製品図

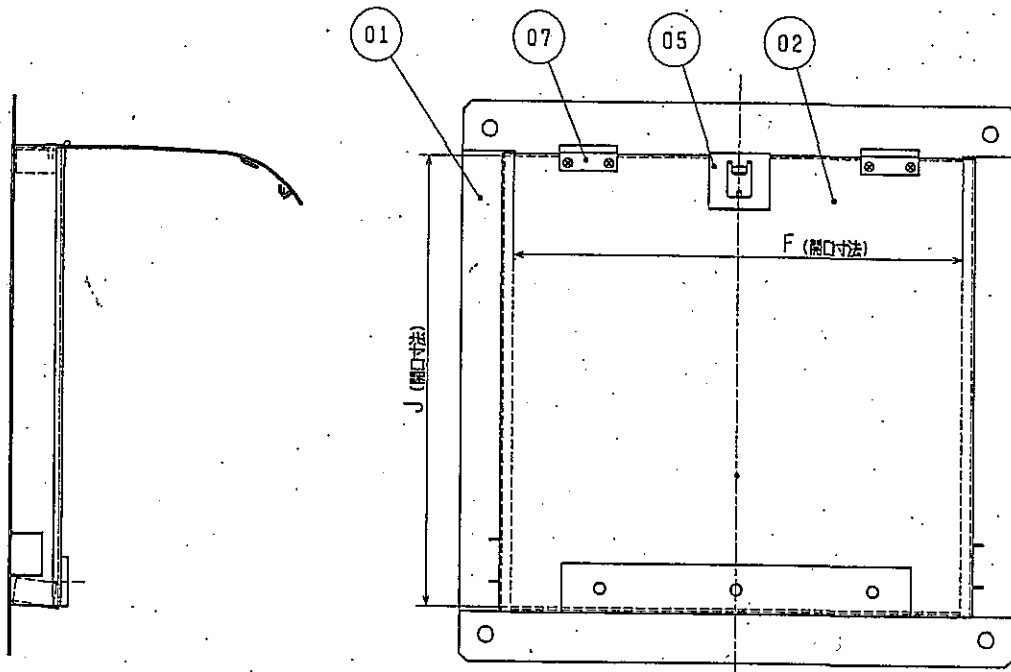


図2 製品図

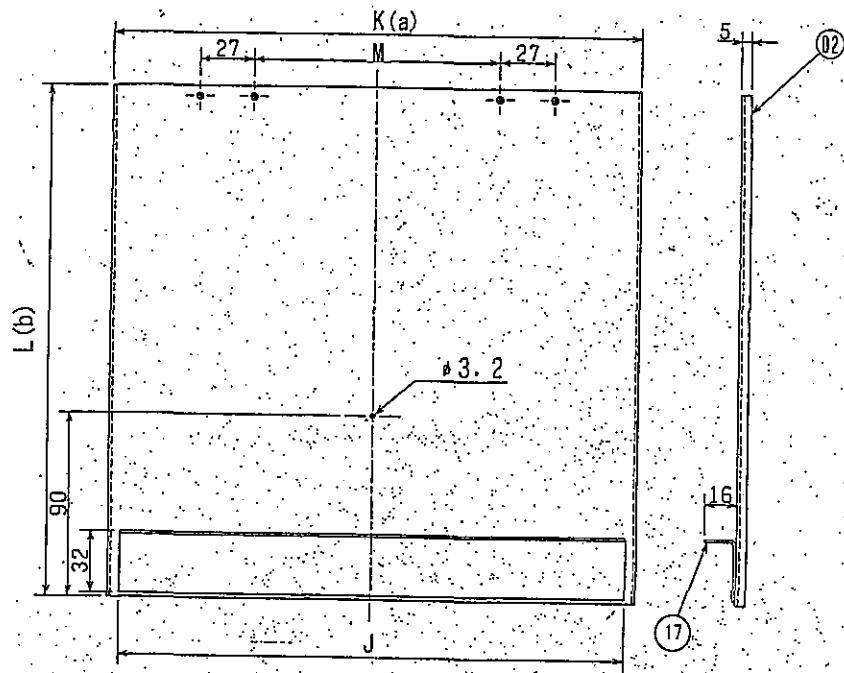


图3 製品図 (羽根部)

### 3. 証明の根拠

#### 3-1. 申請製品の概要

申請された製品は、羽根及び本体ケーシングを厚さ 1.6 mm の溶融亜鉛めっき鋼板 SGC 又は羽根及び本体ケーシングを厚さ 1.5 mm の冷間圧延ステンレス鋼板 SUS304-CP で構成しているものである。

#### 3-2. 告示の記載事項

平成 12 年建設省告示第 1369 号第 1 第二号に該当する構造として、「鉄製で鉄板の厚さが 1.5mm 以上の防火戸または防火ダンパーであること」と定められている。

#### 3-3. 考察

製品は、羽根及び本体ケーシングを厚さ 1.6 mm の溶融亜鉛めっき鋼板 SGC 又は羽根及び本体ケーシングを厚さ 1.5 mm の冷間圧延ステンレス鋼板 SUS304-CP で構成しているが、ステンレス鋼製も鋼材の一種であるため、防火上の観点から鉄製とみなせる。

なお、開口寸法の大きさが異なっても、同一の材料を用い、かつ必要厚さを確保しているため、ダンパーが閉鎖した時に閉鎖状態が保持されれば、火炎が通る隙間を生じないことから、防火上の影響はないものと判断できる。

したがって、「外壁用温度ヒューズ連動防火ダンパー」は、平成 12 年建設省告示第 1369 号第 1 第二号に規定される防火ダンパーに該当する。

### 4. 証明担当者

仲谷一郎、佐伯智寛